

年間授業計画

三宅 高等学校 令和5年度（1学年用）教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 NK 組～ F 組

教科担当者：（NK・F組：廣見）

使用教科書：（精選 現代の国語（東京書籍））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力を伸ばし、伝え合う力を高め、考えを広げたり深めたりすることができる

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話	書	読						
1 学期	自己と他者「届く言葉」「話す、聞くーわかりやすい説明」 相手に「届く言葉」とそうでない言葉の違いについて、対比的に書かれた評論を読み取る。 話す・聞く 分かりやすい説明をする	評論の読み方のポイントを押さえる。評論で論じられている内容の理解を深めるために現代の問題に関心をもち、自分自身のこととして積極的に向き合う姿勢を養う。（評論の読み方）	○			「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。「話すこと・聞くこと」で、自分の立場や考えを明確にし、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	○	○	○	14
	定期考査			○			○	○		1
	認識を深める「水の東西」 「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 書く 発想を広げて課題を見つける。	「鹿おどし」の具体的な動きと、「鹿おどし」を見て筆者が感じ取ったことを表現に即して読み取る。 新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる		○		「読むこと」において、目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	○	○	○	14
定期考査				○		○	○		1	
2 学期	言葉と社会、「まちの豊かさとは何か」「本を紹介する」 「豊かさ」とは何かについて書かれた評論を読み、その考え方の違いについて理解を深める。 本の紹介、話の構成や、紹介の仕方を工夫して話す。	評論の読み方を押さえる。評論で論じられている内容の理解を深めるために現代の問題に関心をもち、積極的に向き合う姿勢を養う。（評論の読み方） 選んだ本を班の中で紹介し合い、班として紹介する本を決める。	○			「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえ、相手の理解が得られるように表現を工夫している。	○	○	○	14
	定期考査			○		○	○		1	
	言葉と社会・時間と自由 時間と自由の関係についての筆者の主張を的確に読み取り、必要に応じてその内容を要約する。 グラフや写真の読み取り方	評論で論じられている内容の理解を深めるために現代の問題に関心をもち、自分自身のこととして積極的に向き合う姿勢を養う。（評論の読み方） 資料の読み手や目的に応じて、内容や全体の構成を考えて、説明資料にまとめる。		○		「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 積極的に説明資料の作成に必要な情報を収集、整理し、学習課題に沿って伝える相手や目的を意識した説明資料を作成しようとしている。	○	○	○	14
定期考査				○		○	○		1	
3 学期	「自立」の在り方について考察する 評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 紹介されている体験談を踏まえて、「能力」に関する筆者の考えを読み取る。 異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く	筆者の主張する「自立」について、現代社会で混同して使われている「独立」という言葉との違いも踏まえて読み取り、まとめる。 現代人の時間の在り方について、筆者がどのように捉えているのかを説明する。 「読書について書かれた文章」A～Cを読み比べて意見文をまとめた例を参考に、自分の意見を書く方法を理解する。	○			「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 積極的にテーマに沿った本を探し、学習の見通しをもって異なる主張の文章を読み比べ、自分の考えが読み手に伝わるように意見文としてまとめようとしている。	○	○	○	5
	共に生きる 世界を広げる 人間の在り方について考察する 評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 書く 論証してレポートを書く 発表の仕方や、話の聞き方を工夫する。	「『自らの人生を生きる』」について筆者の考えを他の作品の著者の考えとの対比を踏まえて理解し、まとめる。 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。レポートの種類を理解し、論証型レポートを書いた例を参考に、レポートの書き方を確認する。		○		「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 調査内容をパワーポイントなどにまとめ、資料を作成する。その際、伝えたいことを明確に表現できるよう、タイトルの付け方や、図表の配置などを工夫する。	○	○	○	5
	定期考査			○		○	○		合計	70

年間授業計画

三宅 高等学校 令和5年度（1学年用）教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 N K組 F組

教科担当者：（N組：坂田）（K組：坂田）（F組：坂田）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（言語文化（大修館））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・ 劇	書 読					
言語と文化の関係について理解を深める	世界を見わたす窓／文字の深秘 宇治拾遺物語 田舎の児、桜の散るを見て泣くこと		○	【知識・技能】 言葉と文化の間に深い関連があるということについて理解している。 古典の世界に親しむために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古典の説話と現代の様々な文化とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	9
自然へのまなざし	をりふしの移り変はるこそ／神無月のころ		○	【知識・技能】 文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、表現したいことを明確にしている。「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品ごとの自然観を理解しようとしている。	○	○	○	5
定期考査					○	○		1
説話文学について	児のそら寝／絵師良秀／阿蘇の史、盗人にあひてのがること／		○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、作品を読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 古典の説話と現代の様々な文化とのつながりを理解しようとしている。	○	○	○	9
自然へのまなざし2	九月ばかり／雪のいと高う降りたるを／春はあけぼの		○	【知識・技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、作品ごとの自然観を理解しようとしている。	○	○	○	5
定期考査					○	○		1

1
学期

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 F組～K組

教科担当者：（F組：齋藤）（K組：齋藤）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（地理総合（東京書籍）、新詳高等地図（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	○緯度・経度の違いが、私たちの生活にどのような影響を与えているのか理解する。 ○地球儀と世界地図の違いを理解し、用途に応じて適切に利用できるようにする。 ○日本の位置と領域を理解する。	私たちが暮らす世界 1 緯度・経度 2 地球儀と世界地図 3 日本の位置と領域	・世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 ・地球上の位置に関する事柄について多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高めている。	○	○	○	6
	○さまざまな地図があることを理解し、地図利用の可能性を考える。 ○主題図の表現方法の特徴を理解し、用途に応じてどのように使い分けのかを考察する。	地図や地理情報システムの役割 4 地図の種類 5 地形図のルール 6 主題図の種類と読み取り 7 地理情報システムと地図	・地図についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 ・様々な地図について、縮尺・媒体・用途などに着目し、適切に整理している。 ・紙の地図やGISに対する関心高め、閲覧や作業を通して、それらの特徴をとらえようとしている。	○	○	○	5
	○定期考査			○	○		1
	○交通・通信技術の発達により人やモノ、情報が国境をこえてやり取りをされるようになったことについて、適切に理解する。 ○国境をこえた経済活動や政治的なつながりが、人・モノ・情報などのやり取りに大きく影響を及ぼしていることに着目し、現代世界におけるグローバル化の進展について課題意識をもって考察する。	資料から読み取る現代世界 8 交通の発達 9 情報通信の発達 10 国境をこえる人々の移動 11 拡大する貿易 12 つながる世界、多極化する世界	・交通・通信の利用・整備の状況や国境をこえた人・モノ・情報の移動、世界の国家群などについて、地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択肢で、読み取ったり図表などにまとめている。 ・グローバル化の進む現代世界において、政治的・経済的な国家間の結びつきが強まっていることに対する関心と課題意識高め、それを意欲的に追求しようとしている。	○	○	○	12
	○定期考査			○	○		1
2 学期	○世界には多様な文化が存在すること、近年それが均一化する傾向にあることを理解する。 ○地形や気候が地域によってどのように異なるのか、それらが人々の生活にどのように影響を与えてきたかを考察する。	人々の生活文化と多様な地理的環境 1 生活文化の多様性と国際理解 2 生活文化と自然環境 3 生活文化と産業	・世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて、関心と課題意識高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	15
	○定期考査			○	○		1
	○地球環境問題の背景と影響を理解し、解決策を考察する。 ○さまざまな資源・エネルギーの特徴を理解し、生産や消費のあり方を考える。 ○地球規模で取り組むべき課題の内容や特徴を確認し、解決や改善に向けた取り組みを考える。	さまざまな地球的課題と国際協力 1 地球環境問題 2 資源・エネルギー問題 3 人口問題 4 食糧問題 5 居住・都市問題 6 民族問題 7 持続可能な社会の実現をめざして	・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	12
○定期考査			○	○		1	
3 学期	○日本列島の自然環境の特徴について世界的な視点からとらえるとともに、地形と気候の両面から理解する。 ○日本列島の自然環境の特徴と各地域において発生する自然災害との関係性について、世界的な視点から考察する。	自然環境と防災 1 日本の自然環境の特色 2 さまざまな自然災害と防災	・変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○	○	○	10
	○地域調査の手順や具体的な手法を理解し、身近な地域において地域調査を実践する。	生活圏の調査と地域の展望	・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択肢で、読み取ったり図表にまとめている。 ・身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかになったことを適切に表現している。	○	○	○	5
	○定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 組～ 組

教科担当者：（F組：金谷）（NK組：金谷）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（歴史総合（実教出版））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・17世紀から始まり18世紀から19世紀にかけての日本が4つの口を通して周辺地域との関係に着目して、18世紀とその前後の日本における経済活動の特徴、清などのアジア諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	近代化への胎動 ○江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 ○江戸時代の生産・流通と諸改革 ○幕政の改革と東アジア世界	・交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務などに関する資料から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につけている。 ・交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務などに関する資料を活用して、近代化にもなう生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。	○	○	○	3
	・18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国の政治に影響などに着目して、18世紀とその前後の世界全体の経済活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係、江戸幕府が崩壊していく関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 ○イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ○フランス革命とウィーン体制 ○アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 ○オスマン帝国の衰退とロシア ○アヘン戦争の衝撃と日本の開国等	・18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国のできごとや影響などに着目して、主題を設定し、世界各地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、東アジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	・19世紀後半の欧米諸国の動向が日本に与えた影響などに着目して、19世紀後半の日本における経済活動の特徴、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。	欧米諸国と日本の国民国家形成 ○イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 ○明治政府の諸改革 ○日本のアジア外交と国境問題 ○自由民権運動と大日本帝国憲法	・19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	5
	・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などを基に、19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアの政治と社会を理解している。	帝国主義の時代 ○帝国主義の時代へ ○朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 ○日清戦争後の東アジア ○日露戦争と東アジアの変動	・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して、19世紀から20世紀初頭の日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
2 学期	・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協定制を理解する。	第一次世界大戦と大衆社会 ○第一次世界大戦 ○ロシア革命とソ連の成立 ○米騒動とデモクラシー ○ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ○アジアの民族運動	・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協定制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。	経済危機と第二次世界大戦 ○世界恐慌と各国の対応 ○ファシズムの時代 ○満州事変と軍部の台頭 ○日中戦争と戦時体制 ○第二次世界大戦の勃発 ○第二次世界大戦の終結 等	・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 NI組～ F 組

教科担当者：（基礎クラス：高石（標準クラス：篠本（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（数研出版 最新 数学 I ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】基本的な公式、計算ができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】問題からどの公式を使うか、どのように計算していくか考えて問題を解けるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】多くの問題が解けるように努力したり、他者とともに問題を解いたのが共有することができるようになる。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な公式、計算ができるようになる。	問題からどの公式を使うか、どのように計算していくか考えて問題を解けるようになる。	多くの問題が解けるように努力したり、他者とともに問題を解いたのが共有することができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学期	数と式について理解し、問題を解くことができる。	多項式、多項式の加法・減法・乗法、展開の公式、式の展開の工夫、因数分解、いろいろな因数分解、実数、根号を含む式の計算、不等式、不等式の性質、1次不等式の解き方、連立不等式、不等式の利用	発問 話し合いでの取り組み 提出物	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
	集合と命題について理解し、問題を解くことができる。	集合と部分集合、共通部分・和集合・補集合、命題と集合、命題と証明	発問 話し合いでの取り組み 提出物	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学期	2次関数について理解し、問題を解くことができる。	関数、関数とグラフ、2次関数の最大・最小、2次関数の決定、連立不等式、2次関数のグラフと軸の共有点、2次不等式、2次不等式の利用	発問 話し合いでの取り組み 提出物	○	○	○	29
	定期考査			○	○		1
	図形と計量について理解し、問題を解くことができる。	鋭角の三角比、三角比の利用。、三角比の相互関係、三角比の拡張、三角比が与えられたときの角、正弦定理、余弦定理、三角形の面積	発問 話し合いでの取り組み 提出物	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
3 学期	図形と計量について理解し、問題を解くことができる。	鋭角の三角比、三角比の利用。、三角比の相互関係、三角比の拡張、三角比が与えられたときの角、正弦定理、余弦定理、三角形の面積	発問 話し合いでの取り組み 提出物	○	○	○	8
	データの分析について理解し、問題を解くことができる。	データの整理・代表値・散らばり・相関、相関係数、分割表、仮設検定の考え方	発問 話し合いでの取り組み 提出物	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
						合計	105

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 NK組～ F組

教科担当者：加園 明貴

使用教科書：（高校化学基礎 実教出版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然現象に関する概念や原理・法則を理解し、探究に必要な技術を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象に対して、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に主体的に関わり、課題を解決する態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物質とその変化について理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。	観察、実験などを行い、化学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	1章1節物質の分離や精製方法について、元素の確認、状態変化などについて理解させる。また、実験に必要な技能を身に付けさせる。物質三態の違いおよび熱運動について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 純物質と混合物の性質 混合物の分離と精製 単体と化合物 単体と元素 同素体 元素の確認 物質の三態と状態変化 熱運動と温度 	<p>【知識・技能】 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などについて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などの観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 物質の分離・精製や元素の確認、状態変化などに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	1章2節原子の構造、物質の構成粒子について理解させる。原子の電子配置から、イオンへの変化について理解させる。周期表を書くことで、性質の類似点を理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 原子 原子番号 同位体 電子配置 イオンの生成 周期表 イオン化エネルギー 	<p>【知識・技能】 物質の構成粒子について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 物質の構成についての観察、実験を行い、物質の構成における規則性や関係性を見いだして表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 物質の構成などに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
	2章1節イオン結合について、陽イオンと陰イオンがクーロン力で結びついた結合であることを、電子配置と関連付けて理解させる。様々なイオン結晶が存在し、その性質について、日常生活と関連付けながら探究させる。	<ul style="list-style-type: none"> イオン結合 イオン結晶の組成式と書き方 イオン結晶の融点 イオン結晶の電気伝導性 電解質と非電解質 イオン結晶の利用 	<p>【知識・技能】 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 イオンやイオン結合の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イオンやイオン結合などに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	
2 学 期	2章2節分子からできた物質の性質について理解させる。共有結合について、電子配置と関連付けながら理解させる。分子の構造式を書けるように指導する。電気陰性度について、具体的な例を挙げることができる。分子結晶の性質および、利用例、日常生活との関連について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 分子 分子式 共有結合と分子の形成 電子式 共有電子対と非共有電子対 構造式 配位結合 電気陰性度 分子の極性と溶解度 分子結晶の性質と利用 高分子化合物 共有結合の結晶 	<p>【知識・技能】 共有結合を電子配置と関連付けて理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。また、分子からなる物質の性質を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 分子からなる物質の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 共有結合や分子からなる物質などに主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	2章3節金属結合について、金属の展性や延性、電気伝導性などの性質と関連付けながら理解させる。金属の代表的な例として、鉄・アルミニウム・銅などの利用例より、日常生活と関連付けながら探究させる。	<ul style="list-style-type: none"> 金属結合 金属の利用 合金 	<p>【知識・技能】 金属結合を電子配置と関連付けて理解するとともに、金属の性質を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 金属の性質についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 金属に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	○	○	○	3

3 学 期	3章1節 原子量・分子量・式量の意味を理解させる。また、物質量の意味および1molの定義、アボガドロ定数などについて学習し、モル質量の計算を習得させる。アボガドロの法則より、気体の体積を求められるようにする。 質量パーセント濃度について学習し、溶液の質量などを計算できるようにさせる。 化学反応式、イオン反応式の書き方について理解する。 化学反応式の係数から応物や生成物の量を計算から求めることができるようにする。 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> 原子の早退質量 元素の原子量 分子量・式量・物質質量 mol質量 アボガドロの法則 質量パーセント濃度 モル濃度 化学反応式の書き方 イオン反応式 化学反応の量的な関係 	<p>【知識・技能】 物質量と化学反応式について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 物質量と化学反応式についての観察、実験を行い、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 物質と化学反応式について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	○	○	○	10
	3章2節 酸性・塩基性の性質を理解させる。アレニウスの定義から、酸・塩基の電離式を書けるようにする。酸・塩基の価数について理解し、電離度や強弱の関係について学習する。水素イオン濃度について理解させる。中和滴定に使用する実験器具および使用方法について学習し、正しく中和滴定実験を実施させていく。また、中和反応の結果から、酸・塩基の水溶液のモル濃度を求められる。	<ul style="list-style-type: none"> 酸性・塩基性 アレニウスの定義 酸・塩基の価数 酸塩基の電離度と強弱 水溶液の酸性・中性・塩基性 pH 強酸・強塩基の濃度変化のpH 中和反応 中和反応と量的関係 中和滴定 滴定曲線 塩の分類 	<p>【知識・技能】 酸・塩基と中和について理解するとともに、器具の扱い方や溶液の調製方法など滴定操作における基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 酸・塩基と中和についての観察、実験を行い、中和反応に関与する物質の量的関係を科学的に探究する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 酸・塩基と中和に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
	3章3節 酸化還元と水素酸素のやり取り、電子のやり取りとの関係について理解させる。酸化剤・還元剤について理解し、利用例や日常生活との関連について探究させる。 酸化還元滴定から、酸化剤・還元剤の水溶液のモル濃度を求められる。 金属のイオン化傾向と酸化還元の関係について理解させる。 電池の一般的な仕組みを酸化還元反応と関連付けて理解させる。ボルタ電池・一次電池・二次電池についてイオン反応式の観点から理解させる。 定期考査	<ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応 酸化剤・還元剤 酸化還元の量的な関係 金属のイオン化傾向 金属と水・酸との反応 電池の原理 ダニエル電池・ボルタ電池 一次電池と二次電池 	<p>【知識・技能】 酸化と還元について理解するとともに、実験の技能と物質を探究する方法を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 酸化と還元についての観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付ける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 酸化と還元を主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	9
			○	○		1 合計	
						70	

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 NK組～F組

教科担当者：加園 明貴

使用教科書：（高校生物基礎 実教出版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然現象に関する概念や原理・法則を理解し、探究に必要な技術を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象に対して、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力を育む。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に主体的に関わり、課題を解決する態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての観察、実験などを行うことで生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技を身に付ける。	生物現象から、探究の過程を通して観察、情報収集、仮説設定、実験計画、検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得する。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力を育む。	生物現象に主体的に関わり、気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。また、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	1章1節 生物の共通性・多様性について、進化と関連付けて理解させる。 原核細胞・真核細胞について学習し、構造や働きについて理解させる。細胞小器官の名称と特徴を理解させる。 細胞の観察実験を通して、生物の構造や違いについて探究し、理解しようとする力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 生物の共通性 生物の分類 生物の進化と共通性・多様性 様々な細胞 単細胞生物と多細胞生物 	【知識・技能】 原核細胞と真核細胞の違いについて理解している。試料を光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 【思考・判断・表現】 資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見出し表現することができる。 DNAのはたらきについて理解し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の共通性を、実験や観察を通して見出し、理解しようとする。 原核細胞と真核細胞について、違いを理解しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	1章2節 代謝には同化と異化があり、ATPを利用して行われることを理解させる。 生体触媒である酵素を上げ、その働きと気質特異性について理解させる。また、酵素カタラーゼの実験を行うことで、酵素の働きや基質との関係について、科学的に探究させていく。 光合成と呼吸の仕組みやATPとの関係について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 生命活動とエネルギー 代謝 酵素の働き 光合成と要録大 呼吸とミトコンドリア 光合成と呼吸の比較 	【知識・技能】 生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 【思考・判断・表現】 呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、ATPと関連付けて考察できる。 カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2章1節 染色体とDNA、遺伝子の違いについて理解させる。また、DNAの構造から、DNAの複製の仕組みについて学習していく。	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子とDNA 遺伝子の構造 細胞周期 DNAの複製 	【知識・技能】 DNAが二重らせん構造であり、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。生物の組織からDNAを抽出する技能を習得している。 【思考・判断・表現】 資料に基づき、DNAの構造を科学的に見出すことができる。 DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。 細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見出し、理解しようとする。	○	○	○	6	
定期考査			○	○		1	
2章2節 生物のからだは様々なタンパク質から構成されており、そのタンパク質はアミノ酸からできていることを理解させる。 DNAとRNAを比較することで違いに気づき、タンパク質合成の流れである転写・翻訳との関係について	<ul style="list-style-type: none"> 生体とタンパク質 遺伝子とタンパク質 DNAとRNA セントラルドグマ 遺伝子の発現とタンパク質 遺伝情報とゲノム ゲノムと遺伝子 	【知識・技能】 遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解している。試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 【思考・判断・表現】 mRNAとアミノ酸との対応関係について、遺伝暗号表から読み解くことができる。	○	○	○	7	
定期考査			○	○		1	

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 併合科 普通科

教科担当者：高松 百合香 池野 弘恵

使用教科書：（新高等 保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付ける。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知・技	思	態	配当 時数
<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に合った運動の計画を立て取り組むことができるようにする。（知識） ・手堅な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。（運動） ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。（思考力・判断力・表現力等） ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。（主体的に学習に取り組む態度） 	体づくり運動 （からだほぐしの運動）	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを言ったり書き出ししたりしている。（知識） ・いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすることができる。（運動） ・健康や安全を確保するために、体力や体調に応じた運動の計画等について振り返っている。（思考力・判断力・表現力等） ・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度） 	○	○	○	3
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。（知識） ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。（思考力・判断力・表現力等） ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。（主体的に学習に取り組む態度） 	体育理論 （スポーツの歴史的発展と多様な変化、現代スポーツの意義や価値）	<ul style="list-style-type: none"> ・理念が時代に応じて多様に変容してきていること、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることについて、言ったり書き出ししたりしている。（知識） ・現代のスポーツは、共生社会の実現にも寄与していること、ドーピングは能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせるということと言ったり、書き出ししたりしている。（知識） ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。（思考力・判断力・表現力等） ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度） 	○	○	○	3

1 学 期	<p>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。(知識・技能)</p> <p>・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。(知識・技能)</p> <p>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>・ハンドボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	球技ゴール型 (ハンドボール)	<p>・ハンドボールにおいて用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを言ったり書き出したりしている。(知識)</p> <p>・ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。(技能)</p> <p>・ゴール前の空いている場所をカバーすることができる。(技能)</p> <p>・作戦などの話し合いの場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	○	○	○	10
	<p>・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができるようにする。(知識・技能)</p> <p>・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。(知識・技能)</p> <p>・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	水泳	<p>・水泳の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることを言ったり書き出したりしている。(知識)</p> <p>・肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかくことができる。(技能)</p> <p>・水中で両足あるいは左右どちらかの足をプールの壁につけた姿勢から、スタートの合図と同時に顔を水中に沈め、抵抗の少ない流線型の姿勢をとって力強く壁を蹴り、各泳法に適した水中における一連の動きから、泳ぎだすことができる。(技能)</p> <p>・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>・水泳の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	○	○	○	10
	<p>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。(知識・技能)</p> <p>・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防ができるようにする。(知識・技能)</p> <p>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>・バレーボールに自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	球技ネット型 (バレーボール)	<p>・バレーボールにおいて用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを言ったり書き出したりしている。(知識)</p> <p>・ボールを相手側のコートの中へ空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。(技能)</p> <p>・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	○	○	○	8

	<p>・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。(知識・技能)</p> <p>・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることができるようにする。長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができるようにする。ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができるようにする。(知識・技能)</p> <p>・やり投げでは、短い助走からやりを前方にまっすぐ投げるができるようにする。(知識・技能)</p> <p>・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>陸上競技(短距離走・リレー、長距離走、ハードル走、やり投げ)</p>	<p>・陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。(知識)</p> <p>・スタートダッシュでは地面を力強くキックして、徐々に上体を起こしていき加速することができる。(短距離走)</p> <p>・リレーでは、自走者はスタートを切った後スムーズに加速して、スピードを十分に高めることができる。(リレー)</p> <p>・自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。(長距離走)</p> <p>・遠くから踏み切り、振り上げ脚をまっすぐ振り上げ、ハードルを低く走り越すことができる。(ハードル走)</p> <p>・やりを後方に引いた姿勢でクロスステップを行い、投げの動作に移ることができる。(やり投げ)</p> <p>・自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>・陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	○	○	○	9
2 学期	<p>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解できるようにする。(知識)</p> <p>・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>体育理論 (スポーツの歴史的發展と多様な変化、現代スポーツの意義や価値)</p>	<p>・理念が時代に応じて多様に変容してきていること、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあることについて、言ったり書き出したりしている。(知識)</p> <p>・現代のスポーツは、共生社会の実現にも寄与していること、ドーピングは能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせるということを言ったり、書き出したりしている。(知識)</p> <p>・スポーツの歴史的發展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組もうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	○	○	○	1
	<p>・実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。(知識・運動)</p> <p>・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	<p>体づくり運動 (実生活に生かす運動の計画)</p>	<p>・実生活で運動を継続するには、行いやすいこと、無理のない計画であることなどが大切であることを言ったり、書き出したりしている。(知識)</p> <p>・運動不足の解消や体調維持のために、食事や睡眠などの生活習慣の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せやバランスのよい組合せで運動の計画を立てて取り組むことができる。(運動)</p> <p>・体づくり運動の学習成果を踏まえて、実生活で継続しやすい運動例や運動の組合せの例を見付けている。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p>・自己や仲間の課題解決に向けた話合いに貢献しようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>	○	○	○	4

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 普通科・併合科

教科担当者：池野 弘恵

使用教科書：新高等保健体育（大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<ul style="list-style-type: none"> 健康指標や疾病構造の変化から、日本の健康課題を理解する。 健康水準や疾病構造の変化には社会の状況が関わっていることを理解する。 	日本における健康課題の変遷	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	1
<ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方がどのように変化してきたのかを理解する。 健康の成立には様々な要因が関わっていることを理解する。 	健康の考え方と成り立ち	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	1
<ul style="list-style-type: none"> ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解する。 健康を保持・増進するための環境について理解する。 	ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	1
<ul style="list-style-type: none"> 健康を保持・増進するには適切な意思決定・行動選択が重要であることを理解する。 意思決定・行動選択は様々な要因により影響を受けることを理解する。 	健康に関する意思決定・行動選択	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	1

1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解する。 ・新興感染症や再興感染症の発生や流行の現状とその理由について理解する。 	現代における感染症の問題	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌（O157 型）感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 ・現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防の三原則について理解する。 ・感染症を予防するために必要な社会および個人の取り組みについて理解する。 	感染症の予防	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用が必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりして、AED などを用いて心肺蘇生法ができる。 【思考・判断・表現】 ・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 ・応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解する。 ・心肺蘇生法ができるようになる。 	心肺蘇生法	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。 ・熱中症の予防および基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。 	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。 ・熱中症の予防および基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。 	日常的な応急手当	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 ・応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用による健康および社会への影響について理解する。 ・薬物乱用の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。 	薬物乱用と健康	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コカイン、MDMA などの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・薬物乱用の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 ・薬物乱用の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・薬物乱用について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2
期末考査				○	○		1
<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて理解する。 ・生活習慣病の予防や回復のために必要な社会の取り組みについて理解する。 	生活習慣病の予防と回復	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 	○	○	○	2	

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・身体活動・運動と健康の関係について理解する。 ・身体活動・運動の継続的な実践に必要な個人と社会の取り組みについて理解する。 	身体活動・運動と健康	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自己や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自己や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な精神疾患の特徴や症状について理解する。 ・精神疾患の発症、回復のポイントを理解する。 	精神疾患の特徴	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患は、精神機能の基盤となる心理的、生物的、または社会的な機能の障害などが原因となり、認知、情動、行動などの不調により、精神活動が不全になった状態であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・うつ病、統合失調症、不安症、摂食障害などは、誰もが罹患しうること、若年で発症する疾患が多いこと、適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の対策ではないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自己や社会の課題を発見している。 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を傷め、不調に思く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・精神疾患の予防と回復について、自己や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に自主主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応について理解する。 ・心の健康社会の実現を目指した取り組みの重要性について理解する。 	精神疾患への対応	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エイズ及び性感染症について、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性感染症・エイズとその予防について、自己や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性感染症・エイズとその予防について、課題の解決に向けた学習に自主主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・性感染症・エイズの現状と今後の課題について理解する。 ・性感染症・エイズの予防に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。 	性感染症・エイズとその予防	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エイズ及び性感染症について、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性感染症・エイズとその予防について、自己や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性感染症・エイズとその予防について、課題の解決に向けた学習に自主主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・がんには様々な種類があることやがんの発生要因について理解する。 ・がんの予防や回復のために必要な個人および社会の取り組みについて理解する。 	がんの予防と回復	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自己や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自己や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康の関係について理解する。 ・健康的な食生活の実践に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。 	食事と健康	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自己や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自己や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2
	<ul style="list-style-type: none"> ・休養・睡眠と健康の関係について理解する。 ・適切な休養・睡眠の確保に必要な個人および社会の取り組みについて理解する。 	休養・睡眠と健康	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自己や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について、自己や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	1
	期末考査				○	○	

	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙による健康への影響について理解する。 喫煙による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。 	喫煙と健康	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫煙、飲酒の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 喫煙、飲酒の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 喫煙、飲酒の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫煙、飲酒について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2
	<ul style="list-style-type: none"> 飲酒による健康への影響について理解する。 飲酒による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解する。 	飲酒と健康	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫煙、飲酒の防止について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 喫煙、飲酒の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 喫煙、飲酒の防止について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 喫煙、飲酒について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2
	<ul style="list-style-type: none"> 様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解する。 事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることを理解する。 	事故の現状と発生要因	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故防止には個人の取り組みと交通環境の整備が必要であることを理解する。 交通事故には補償など法的責任が生じることを理解する。 	交通事故防止の取り組み	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解する。 すべての人たちの安全を確保するために必要な環境の整備について理解する。 	安全な社会の形成	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用している。 交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> 応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解する。 救急医療体制の仕組みと社会的整備の必要性、適切な利用方法について理解する。 	応急手当の意義と救急医療体制	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用している。 応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	1
	期末考査			○	○		1 合計 35

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 F 組

教科担当者： （ 中島 美音 ）

使用教科書： （ 教育芸術社：MOU ）

教科 芸術

の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現をしたり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創 賞					
A 校歌 言葉の特性と曲種（音楽の種類）に応じた発声との関わりを理解し、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付けて歌うことができるようにする。 【知識及び技能】 歌唱表現にかかわる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。【思考力、判断力、表現力等】 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり歌唱を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 【学びに向かう力、人間性等】	【校歌】 ・校歌の歌唱 ・校歌の記譜	○	○	○	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 また、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱で表している。 【知識・技能】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聞いたりしている。 【思考・判断・表現】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
B ソルフエージュ 視唱に関する知識や技能を身に付けるようにする。 【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】	【ソルフエージュ】 ・新曲視唱 ・新曲リズム ・叩き歌い	○	○	○	曲想と手拍子の奏法との関わりについて理解している。 【知識・技能】 音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構造を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととのかわりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【思考・判断・表現】 曲想と手拍子の奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
C 楽典 音楽に関する基礎的な理論について理解するとともに、理解したことを楽譜によって表す技能を身に付けるようになる。 【知識及び技能】 音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力等を育成する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽理論を表現や鑑賞に生かそうとする態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】	【楽典】 ・音名 ・譜表 ・音符 ・休符 ・リズム ・反復記号	○	○	○	【知識・技能】 音楽に関する基礎的な理論について理解している。 【思考・判断・表現】 音楽理論を表現や鑑賞の学習に活用する思考力、判断力、表現力を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽理論を表現や鑑賞に生かしている	○	○	○	10

1
学
期

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度(1学年用) 教科

芸術 科目 美術 I

教科: 芸術

科目: 美術 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 NK 組 ~ F 組

教科担当者: (岡田 絢香)

使用教科書: (光村図書 美術 1)

教科 芸術

の目標:

【知識及び技能】必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。

【思考力、判断力、表現力等】主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

科目 美術 I

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	映						
1 学 期	①分野 「絵画・彫刻」 ②領域 「表現中心の題材」 ③題材名 「鉛筆の特性を知ろう・ポイント自画像」 ④目標 さまざまな作品を鑑賞し、自分自身を工夫してあらわす	・絵画や彫刻、写真など、さまざまな方法で自己を表すことに関心を持ち、自分を見つめ感じ取ったことから主題を生成する。 ・主題をもとに、作品形態や表現方法、用具の使い方などの構想を練る。 ・形や色、材料、光などを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞しあい、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	○		○	【知識】目的や意図に基づいて、技法や材料などの特性を理解している。 【技能】意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、効果的な表現方法を創意工夫して表している。 【発想】表現形式の特性と、造形要素の働きを考え、絵画的な表現の構想を練っている。 【構想】計画や手順を吟味し、制作の見通しを持って、主題を追求し表している。 【表現に対する態度】絵画として表現することに興味を持ち、主体的に主題に取り組もうとしている。 【鑑賞に対する態度】制作した作品を相互に鑑賞し、そのよさを理解し、取り組もうとしている。				8
1 学 期	①分野 「デザイン」 ②領域 「表現中心の題材」 ③題材名 「色彩構成(自画像の背景)」 ④目標 さまざまな作品を鑑賞し、自分自身を工夫してあらわす	・ものの形や、色の特徴などから主題を生成する。 ・主題をもとに、形や色、構成などの構想を練る。 ・形や色、材料、構成などを工夫し、用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞しあい、意図や工夫を感じ取り、話し合う。		○	○	【知識】形や色、材料などが感情にもたらす効果や造形的な特徴などをもとに捉える事を理解している。 【技能】意図に応じて材料や用具を選択し、その特性を生かすとともに、効果的な表現方法を創意工夫して表している。 【発想】ものの形や色の特徴などから主題を生成し、形と色の組み合わせや構成などの効果について考え創造的な表現の構想を練っている。 【鑑賞】調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、形や色、構成の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【表現に対する態度】主体的に形や色の特徴を捉え、工夫して平面構成をデザインする表現の創造活動に取り組もうとしている。 【鑑賞に対する態度】主体的に調和の取れた美しさなどを感じ取り、形や色、構成の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。				12
2 学 期	①分野 「彫刻」 ②領域 「表現中心の題材」 ③題材名 「食品サンプルを作ろう」 ④目標 写真から想像力を膨らませ、立体感や質感を意識して彫刻であらわす	・教科書の彫刻作品を鑑賞し、彫刻作品のよさを理解させる。 ・制作計画を立てさせる。 ・食品サンプルの作り方動画を鑑賞し、どうしたら自分の思い通り食品サンプルが作れるかを考え、考察する。 ・樹脂粘土の特徴を理解させ、制作させる。 ・自身の作品に適切な皿を用意し、美しい盛り付けを意識させる。 ・光の当たり方、レフ板の使い方など、食品の美しい写真の撮り方を理解させる。 ・鑑賞させて講評をおこなう。 ・自分の作品について良い所、もう少し頑張りたい所を発表できるようにさせる。 ・他者の作品を鑑賞し良い所を認め合えるようにする	○		○	【知識】量感や質感などの造形的な特徴などをもとに捉える事を理解している。 【技能】意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、立体であらわす表現の方法を工夫し、主題を追求して創造的に関わっている。 【発想】材料の特性を生かし、量感や質感などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【鑑賞】彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【表現に対する態度】主体的に料理の特徴を捉え、工夫して表現の創造活動に取り組もうとしている。 【鑑賞に対する態度】主体的に彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。				18

3 学 期	①分野 「映像メディア」 ②領域 「表現中心の題材」 ③題材名 「テーマを決めてフォトブックを作る」 ④目標 「一つのテーマを決め、光や構図などを意識して撮影し、シリーズの作品を作る。」	<ul style="list-style-type: none"> ・写真から作者の意図を読み取らせ、写真に対する解像度をあげさせる。 ・分析傾向をもとにフォトブックのテーマとモチーフを決めさせる。 ・撮影してきた写真を解析させる。 ・カメラアングルとポジション、構図、ホワイトバランスについて学ばせる。 ・フォトブックの編集構成のプロットを作らせる。 ・フォトブックに使用する写真の選び方や、著作権、肖像権についても学ばせる。 ・写真の組み合わせ、色のバランス、大きさのバランス、余白の使い方、脇役写真の作り方などを指導する。 ・アイビスペイントを使用した画像加工について指導する。 ・必要があれば写真の撮影に連れて行く ・フォトブックの注文方法について指導する。 ・鑑賞させて講評をおこなう ・自分の作品について良い所、もう少し頑張りたい所を発表できるようにさせる ・他者の作品を鑑賞し良い所を認め合えるようにする 	○	○	○	【知識】形や色、光などが感情もたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、写真によるシリーズ作品を、全体のイメージや作風などで捉える事を理解している。 【技能】意図に応じてカメラ等の用具の特性を生かして、テーマの意図を効果的にあらわしている。 【発想】シリーズであらわすことの意味を考え、被写体を見つめて感じ取ったことや考えたことをもとに映像メディアの特性を生かして主題を生成し、視点や構図、光などの視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構成を練っている。 【鑑賞】シリーズの写真の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【表現に対する態度】主体的に撮影のテーマを探し、被写体を見つめて感じ取ったことや考えたことをもとに、写真に表現する創造活動に取り組もうとしている。 【鑑賞に対する態度】主体的にシリーズ写真の特質や表現効果などを感じ取り、作者の意図や視点や構図、光の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	○	14
	①分野 「映像メディア」 ②領域 「鑑賞中心の題材」 ③題材名 「海外のアニメーションと日本のアニメーションの違い」 ④目標 「アニメーションの特質や表現効果などを感じ取り、見方や感じ方を深めている。」	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメーション史において重要な2作品を鑑賞させる。 ・日本のアニメーションと世界のアニメーションを比較させる。 ・技法などにも注目させ、デジタルアニメーションに劣らないアナログアニメーションの魅力を理解させる。 	○	○	○	【知識】形や色、材料、光、動きなどが感情もたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、アニメーションを、全体のイメージや作風などで捉える事を理解している。 【鑑賞】アニメーションの特質や表現効果などを感じ取り、それぞれの作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めている。 【鑑賞に対する態度】主体的にアニメーションの特質や表現効果などを感じ取り、作者の意図や撮影の際の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	○	8
合計										60	

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションⅠ 単位数: 3 単位

対象学年組: 第1学年 NK組~ F組

教科担当者: (NK組: 石田、小林 (F組: 石田、小林) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (COMET English Communication I)

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】大学入試にも対応可能な程度の単語や文法の基礎知識を身につけさせる

【思考力、判断力、表現力等】論理的・客観的に物事を理解し、様々な話題に関して自分の意見を英語で表現する方法を身につけさせる

【学びに向かう力、人間性等】英語に興味を持たせ、生徒自身の可能性に気付かせるとともに、高校卒業後も自ら学び続けられるような動機づけをする

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単語や熟語、文法、文構造等の基礎・基本的な知識を習得する	様々な話題に関して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする力を養う	教科書の単元で扱われる話題を実際の生活と結び付けて、英語に興味を持たせる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 【 や 】	書					
1 学 期	・現在形・過去形を理解させる。 ・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	・新出単語と文法項目を身につけている ・単元に関する話題やそれに関連した話題について表現できる ・授業中の活動や宿題などに、間違いを恐れずに取り組もうとしている	○	○	○	10
	・進行形を理解させる。 ・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	・新出単語と文法項目を身につけている ・単元に関する話題やそれに関連した話題について表現できる ・授業中の活動や宿題などに、間違いを恐れずに取り組もうとしている	○	○	○	10
	定期考査							○	○		1
	・助動詞を理解させる。 ・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	・新出単語と文法項目を身につけている ・単元に関する話題やそれに関連した話題について表現できる ・授業中の活動や宿題などに、間違いを恐れずに取り組もうとしている	○	○	○	10
	・不定詞を理解させる。 ・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	・新出単語と文法項目を身につけている ・単元に関する話題やそれに関連した話題について表現できる ・授業中の活動や宿題などに、間違いを恐れずに取り組もうとしている	○	○	○	10
定期考査							○	○		1	
2 学 期	・動名詞を理解させる。 ・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	・新出単語と文法項目を身につけている ・単元に関する話題やそれに関連した話題について表現できる ・授業中の活動や宿題などに、間違いを恐れずに取り組もうとしている	○	○	○	10
	・that節の用法を理解させる。 ・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	・新出単語と文法項目を身につけている ・単元に関する話題やそれに関連した話題について表現できる ・授業中の活動や宿題などに、間違いを恐れずに取り組もうとしている	○	○	○	10
	定期考査							○	○		1
	・現在完了形を理解させる。 ・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	・新出単語と文法項目を身につけている ・単元に関する話題やそれに関連した話題について表現できる ・授業中の活動や宿題などに、間違いを恐れずに取り組もうとしている	○	○	○	10
	・受け身の用法を理解させる。 ・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	・新出単語と文法項目を身につけている ・単元に関する話題やそれに関連した話題について表現できる ・授業中の活動や宿題などに、間違いを恐れずに取り組もうとしている	○	○	○	10
定期考査							○	○		1	
3 学 期	・比較表現を理解させる。 ・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	・新出単語と文法項目を身につけている ・単元に関する話題やそれに関連した話題について表現できる ・授業中の活動や宿題などに、間違いを恐れずに取り組もうとしている	○	○	○	10
	・関係代名詞を理解させる。 ・本文の内容を理解させる。 ・批評的思考力を伸ばすとともに自分の意見を英語で表現できるようにする。	・単元に関する話題について意見交換 ・新出単語、文法、・本文読解 ・slash reading/sight translation ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	・新出単語と文法項目を身につけている ・単元に関する話題やそれに関連した話題について表現できる ・授業中の活動や宿題などに、間違いを恐れずに取り組もうとしている	○	○	○	11
										合計	105

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 NI組～ F 組

教科担当者： (NK・F組： 篠本 亮)

使用教科書： (高校情報 I python (実教出版))

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】ICTがどのように成り立っているのかを知り、それらを活用できるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】限りある情報から、状況に応じた判断ができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】他者と意思疎通を図り、問題解決に向けて協力することができるようになる。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ICTがどのように成り立っているのかを知り、それらを活用できるようになる。	限りある情報から、状況に応じた判断ができるようになる。	他者と意思疎通を図り、問題解決に向けて協力をすることができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学期	情報社会について理解する。	情報と情報社会 問題解決の考え方 法規による安全対策 個人情報とその扱い 知的財産権の概要と産業財産権 著作権	発問 話し合いでの取り組み 提出物	○	○	○	12
	情報デザインについて理解する。	コミュニケーションとメディア 情報デザインと表現工夫 Webページと情報デザイン	発問 話し合いでの取り組み 提出物	○	○	○	6
2 学期	デジタルについて理解する。	デジタル情報の特徴 数値と文字の表現 演算の仕組み 音の表現 画像の表現 コンピュータの構成と動作 コンピュータの性能	発問 話し合いでの取り組み 提出物	○	○	○	14
	ネットワークについて理解する。	ネットワークをプロトコル インターネットの仕組み Webページの閲覧とメールの送受信 情報システム 情報システムを支えるデータベース 個人による安全対策	発問 話し合いでの取り組み 提出物	○	○	○	16
3 学期	問題解決について理解する。	データの収集と整理 ソフトウェアを利用したデータの 処理 統計量とデータの尺度 時系列分析と回帰分析 モデル化とシミュレーション	発問 話し合いでの取り組み 提出物	○	○	○	10
	プログラミングについて理解する。	アルゴリズムとプログラミング プログラミングの基本 配列 関数 探索のプログラム 整列のプログラム	発問 話し合いでの取り組み 提出物	○	○	○	12
合計							70

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度（農業科1学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教科：農業 科目：総合実習 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 組

教科担当者：中嶋 龍也

使用教科書：（なし）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識、技術の理解と定着を深めるとともに、目的や状況に応じた実際の場面において適切に運用、活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識や技術を実際の場面において状況や状態を適切に判断して柔軟な思考力を持って対応することができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】課題の解決に向け、探究的かつ意欲的な態度で自ら考え行動し、対応していく力、コミュニケーション能力、協調性、勤労意欲、チャレンジ精神などを主体的に図ろうとしている。

科目 総合実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食べ物が変質する仕組み、加工の原理などの基礎を理解している②別科目総合実習での製造実習で扱った食品の加工原理などについて座学を通しより深い知識を身に付けられる	食品の特性と加工の原理を学び製造する際の品質と生産性の向上を図ることについて思考できる。	積極的に授業に参加し食品製造に関する知識の習得が行える②グループワークにおいて積極的にコミュニケーションをとり対話によって考えを深めていける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○食品製造の意義について	○食品製造とその目的 ○食生活と食品製造 ○食品産業の役割と動向 ○日本の食品産業の課題	○食品製造の意義、食品産業の現状と動向に関する基礎的な知識を身に付け食品産業の社会的な役割を理解している ○食品産業の意義、食品産業の現状と動向に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断しその過程や結果を適切に表現している。 ○食品産業の意義、食品産業の現状と動向について興味・関心を持ち、食品産業の社会的な役割と暮らし十かかわりについて探求しようとしている。	○	○	○	4
	○GAP、HACCPについて	○GAP、HACCPの概要 ○食品製造実習におけるGAPの取組み	○GAPに関する基礎的な知識を身に付け、食品産業における重要性を理解している。○三宅高校で行っているGAPの取り組みを理解し、実践することができる。	○	○	○	4
	○イチゴの栽培管理	○イチゴの栽培特性 ○イチゴの栽培技術	○イチゴの栽培を通して、ジャムの原料となる果実類の生育特性を学び、季節感や原料の加工に関する基礎的な知識を身に付ける。	○	○		2
	○製茶実習	○チャの栽培特性 ○緑茶の製造工程	○茶葉の収穫を通してチャの栽培特性や栽培技術を身に付ける。○製茶工場の見学を通して緑茶の製造工程、加工原理を理解することができる。	○	○	○	4
	○穀類の加工	○穀類の種類と特徴について	○穀類の種類とその特徴を知り、加工原理を理解する。○穀類加工室の使い方を学ぶ。	○	○		2
	○クッキーの製造	○クッキーの製造技術 ○油脂のクリーミング性 ○油脂のショートニング性 ○小麦粉の種類と加工適正 ○ベーキングパウダーの働き	○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に付ける。 ○クッキーの製造を通して油脂のクリーミング性やショートニング性などの加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に付け、実践できる。	○	○	○	4
	○茶畑の管理	○チャの栽培特性 ○チャの生育特性	○茶畑の除草を通して茶ノ木の生育状況を把握し、チャの栽培特性、生育特性についての知識を身に付けられる。	○	○	○	2
	○マドレーヌの製造	○マドレーヌの製造技術 ○バターケーキ生地製造 ○砂糖の種類と糖類	○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に付ける。 ○マドレーヌの製造を通してバターケーキの加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に付け、実践できる。	○	○		4
	定期考査			○	○		1

2 学 期	紅茶の製造	<ul style="list-style-type: none"> ○紅茶の製造技術 ○紅茶の加工原理 ○茶の発酵と製造工程 ○紅茶の歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○紅茶の製造を通して発酵茶の加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。 	○	○	○	2
	○丸パンの製造	<ul style="list-style-type: none"> ○パンの製造技術 ○パンの加工原理 ○パンの歴史 ○イースト菌の働き 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○丸パンの製造を通してパンの加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。 	○	○		4
	<ul style="list-style-type: none"> ○イチゴジャムの製造 ○ブルーベリージャムの製造 ○マーマレードの製造 	<ul style="list-style-type: none"> ○ジャムの製造技術 ○ジャムの加工原理 ○果実類の種類や特性 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○イチゴジャムの製造を通してジャム類の加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。 	○	○	○	4
	○デコレーションケーキの製造	<ul style="list-style-type: none"> ○スポンジケーキの製造技術 ○スポンジケーキの製造原理 ○生クリームの絞り方 ○洋酒、リキュールの種類 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○デコレーションケーキの製造を通してスポンジケーキの加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。 	○	○	○	4
	○食品表示について	<ul style="list-style-type: none"> ○食品表示の意義と制度 ○食品と規格制度 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品の表示が、消費者へ食品の製造場所、原材料、消費および賞味期限など必要な情報を伝える役割をもつことを理解させる。 ○特色のある原材料を使用した加工食品にJASマークが使われていることを理解させる。 	○	○		2
	○栄養素の種類と働き	<ul style="list-style-type: none"> ○炭水化物 ○脂質 ○タンパク質 ○無機質 ○ビタミン 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品に含まれる栄養素の基本的事項を理解させる。 ○食品に含まれる物質の特徴や生物学的な作用により、様々な加工食品が製造されていることを理解させる。 	○	○		3
	定期考査			○	○		1
	○シフォンケーキの製造	<ul style="list-style-type: none"> ○シフォンケーキの製造技術 ○シフォンケーキの製造原理 ○シフォンケーキの歴史 ○卵白の特性 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○シフォンケーキの製造を通してスポンジケーキの加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。 	○	○		4
	○豆腐の製造	<ul style="list-style-type: none"> ○豆腐の製造技術 ○豆腐の製造原理 ○凝固剤の種類、特徴 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○豆腐の製造を通して豆腐の加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。 	○	○		4

3 学 期	○シュークリームの製造	○シュークリームの製造技術 ○シュー生地 ○でんぷん ○生クリームの製造原理	○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○シュークリームの製造を通してシュー生地、生クリームの加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。	○	○		4
	○和菓子（どら焼き）の製造	○和菓子に利用される餡の種類 ○餡の製造技術	○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○和菓子の製造を通して、餡の加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。	○	○		4
	○饅頭の製造	○饅頭の製造技術 ○饅頭の歴史 ○味噌、醤油の歴史	○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○饅頭の製造を通して、饅頭の加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。	○	○		4
	○チャの栽培管理（追肥）	○茶の生育特性 ○茶栽培の1年のながれ ○茶の栽培技術	○茶畑の栽培管理を通して、チャの栽培技術や生育特性など基本的な知識を身に着け実践することができる。 ○チャの栽培に関心を持ち意欲的に知識を吸収し、品質、生産性の向上を目指し、実践的な態度を身に着けられる。	○	○		2
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度（農業科1学年用） 教科 農業 科目 総合実習

教科：農業 科目：総合実習 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 組

教科担当者：中嶋 龍也

使用教科書：（なし）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識、技術の理解と定着を深めるとともに、目的や状況に応じた実際の場面において適切に運用、活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識や技術を実際の場面において状況や状態を適切に判断して柔軟な思考力を持って対応することができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】課題の解決に向け、探究的かつ意欲的な態度で自ら考え行動し、対応していく力、コミュニケーション能力、協調性、勤労意欲、チャレンジ精神などを主体的に図ろうとしている。

科目 総合実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食べ物が変質する仕組み、加工の原理などの基礎を理解している②別科目総合実習での製造実習で扱った食品の加工原理などについて座学を通しより深い知識を身に付けられる	食品の特性と加工の原理を学び製造する際の品質と生産性の向上を図ることについて思考できる。	積極的に授業に参加し食品製造に関する知識の習得が行える②グループワークにおいて積極的にコミュニケーションをとり対話によって考えを深めていける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○食品製造の意義について	○食品製造とその目的 ○食生活と食品製造 ○食品産業の役割と動向 ○日本の食品産業の課題	○食品製造の意義、食品産業の現状と動向に関する基礎的な知識を身に付け食品産業の社会的な役割を理解している ○食品産業の意義、食品産業の現状と動向に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識をもとに合理的に判断しその過程や結果を適切に表現している。 ○食品産業の意義、食品産業の現状と動向について興味・関心を持ち、食品産業の社会的な役割と暮らし十かかわりについて探求しようとしている。	○	○	○	4
	○GAP、HACCPについて	○GAP、HACCPの概要 ○食品製造実習におけるGAPの取組み	○GAPに関する基礎的な知識を身に付け、食品産業における重要性を理解している。○三宅高校で行っているGAPの取り組みを理解し、実践することができる。	○	○	○	4
	○イチゴの栽培管理	○イチゴの栽培特性 ○イチゴの栽培技術	○イチゴの栽培を通して、ジャムの原料となる果実類の生育特性を学び、季節感や原料の加工に関する基礎的な知識を身に付ける。	○	○		2
	○製茶実習	○チャの栽培特性 ○緑茶の製造工程	○茶葉の収穫を通してチャの栽培特性や栽培技術を身に付ける。 ○製茶工場の見学を通して緑茶の製造工程、加工原理を理解することができる。	○	○	○	4
	○穀類の加工	○穀類の種類と特徴について	○穀類の種類とその特徴を知り、加工原理を理解する。 ○穀類加工室の使い方を学ぶ。	○	○		2
	○クッキーの製造	○クッキーの製造技術 ○油脂のクリーミング性 ○油脂のショートニング性 ○小麦粉の種類と加工適正 ○ベーキングパウダーの働き	○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に付ける。 ○クッキーの製造を通して油脂のクリーミング性やショートニング性などの加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に付け、実践できる。	○	○	○	4
	○茶畑の管理	○チャの栽培特性 ○チャの生育特性	○茶畑の除草を通して茶ノ木の生育状況を把握し、チャの栽培特性、生育特性についての知識を身に付けられる。	○	○	○	2
	○マドレーヌの製造	○マドレーヌの製造技術 ○バターケーキ生地 ○砂糖の種類と糖類	○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に付ける。 ○マドレーヌの製造を通してバターケーキの加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に付け、実践できる。	○	○		4
	定期考査			○	○		1

2 学 期	紅茶の製造	<ul style="list-style-type: none"> ○紅茶の製造技術 ○紅茶の加工原理 ○茶の発酵と製造工程 ○紅茶の歴史 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○紅茶の製造を通して発酵茶の加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。 	○	○	○	2
	○丸パンの製造	<ul style="list-style-type: none"> ○パンの製造技術 ○パンの加工原理 ○パンの歴史 ○イースト菌の働き 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○丸パンの製造を通してパンの加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。 	○	○		4
	<ul style="list-style-type: none"> ○イチゴジャムの製造 ○ブルーベリージャムの製造 ○マーマレードの製造 	<ul style="list-style-type: none"> ○ジャムの製造技術 ○ジャムの加工原理 ○果実類の種類や特性 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○イチゴジャムの製造を通してジャム類の加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。 	○	○	○	4
	○デコレーションケーキの製造	<ul style="list-style-type: none"> ○スポンジケーキの製造技術 ○スポンジケーキの製造原理 ○生クリームの絞り方 ○洋酒、リキュールの種類 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○デコレーションケーキの製造を通してスポンジケーキの加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。 	○	○	○	4
	○食品表示について	<ul style="list-style-type: none"> ○食品表示の意義と制度 ○食品と規格制度 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品の表示が、消費者へ食品の製造場所、原材料、消費および賞味期限など必要な情報を伝える役割をもつことを理解させる。 ○特色のある原材料を使用した加工食品にJASマークが使われていることを理解させる。 	○	○		2
	○栄養素の種類と働き	<ul style="list-style-type: none"> ○炭水化物 ○脂質 ○タンパク質 ○無機質 ○ビタミン 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品に含まれる栄養素の基本的事項を理解させる。 ○食品に含まれる物質の特徴や生物学的な作用により、様々な加工食品が製造されていることを理解させる。 	○	○		3
	定期考査			○	○		1
	○シフォンケーキの製造	<ul style="list-style-type: none"> ○シフォンケーキの製造技術 ○シフォンケーキの製造原理 ○シフォンケーキの歴史 ○卵白の特性 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○シフォンケーキの製造を通してスポンジケーキの加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。 	○	○		4
	○豆腐の製造	<ul style="list-style-type: none"> ○豆腐の製造技術 ○豆腐の製造原理 ○凝固剤の種類、特徴 	<ul style="list-style-type: none"> ○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○豆腐の製造を通して豆腐の加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。 	○	○		4

3 学 期	○シュークリームの製造	○シュークリームの製造技術 ○シュー生地 ○でんぷん ○生クリームの製造原理	○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○シュークリームの製造を通してシュー生地、生クリームの加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。	○	○		4
	○和菓子（どら焼き）の製造	○和菓子に利用される餡の種類 ○餡の製造技術	○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○和菓子の製造を通して、餡の加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。	○	○		4
	○饅頭の製造	○饅頭の製造技術 ○饅頭の歴史 ○味噌、醤油の歴史	○食品製造の原理や製造に関心を持ち、原材料の加工適正に応じた食品製造に関する知識を意欲的に吸収するとともに、衛生管理や品質と生産性の向上を図ろうとする創造的、実践的な態度を身に着ける。 ○饅頭の製造を通して、饅頭の加工原理を理解し再現性のあるレポートを作成できる。 ○原材料の処理、食品加工、製造用機器の取り扱いなど身に着け、実践できる。	○	○		4
	○チャの栽培管理（追肥）	○茶の生育特性 ○茶栽培の1年のながれ ○茶の栽培技術	○茶畑の栽培管理を通して、チャの栽培技術や生育特性など基本的な知識を身に着け実践することができる。 ○チャの栽培に関心を持ち意欲的に知識を吸収し、品質、生産性の向上を目指し、実践的な態度を身に着けられる。	○	○		2
	定期考査			○	○		1
						合計	70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

農業 科目 農業と環境

教科：農業 科目：農業と環境

単位数：4 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 組

教科担当者：（1組：荒城 新、石井 陽次）

使用教科書：（農業と環境（実教出版））

教科 農業

の目標：

- 【知識及び技能】草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識、技術の理解と定着を深めるとともに、目的や状況に応じた実際の場面において適切に運用、活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】草花および野菜の栽培と食品の製造に関する知識や技術を実際の場面において状況や状態を適切に判断して柔軟な思考力を持って対応することができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】課題の解決に向け、探究的かつ意欲的な態度で自ら考え行動し、対応していく力、コミュニケーション能力、協調性、勤労意欲、チャレンジ精神などを主体的に図ろうとしている。

科目 農業と環境

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 農業と環境を学ぶ ・農業と環境の学び方について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 ・農業と環境の学びに関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 ・農業と環境の学び方について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	2 農業と環境の学び方 (1) 農業学習の特徴 (2) プロジェクト学習とその流れ (3) 報告書の作成と発表 (4) 農業学習におけるプロジェクト学習 3 学校農業クラブ活動 (1) 学校農業クラブ活動の目標 (2) 学校農業クラブの組織と活動	・農業と環境の学び方について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 ・学校農業クラブ活動について理解している。 ・農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 ・農業学習について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ・学校農業クラブ活動について、主体的、協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
第3章 栽培と飼育の基礎 ・作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決する。 ・作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身に付けさせるとともに、技術の仕組みを理解させる。	1 作物の特性と栽培のしくみ (1) 生活の中の作物 (2) 作物の自然分類 (3) たねと発芽・たねまき	・作物の特性と栽培のしくみに関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・作物の特性と栽培のしくみについて多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決している。 ・作物とその栽培に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。	第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト 1 農業と環境のプロジェクトの実際 (1) プロジェクトの課題設定と素材 (2) 栽培と飼育に関するプロジェクトの実際 (3) 環境に関するプロジェクトの実際 3 トウモロコシの栽培と利用 (3) 栽培の実際 4 ダイズの栽培と利用 (1) ダイズとは (2) 課題設定と栽培計画 (3) 栽培の実際 6 トマトの栽培と利用 (1) トマトとは (2) 課題設定と栽培計画 (3) 栽培の実際 9 ジャガイモの栽培と利用 (1) ジャガイモとは (2) 課題設定と栽培計画 (3) 栽培の実際 10 花壇用草花の栽培と利用 (1) 草花とは (2) 課題設定と栽培計画 (3) 栽培の実際	・農業と環境に関するプロジェクト学習の意義、及び方法と進め方を理解している。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 ・プロジェクト学習に必要な情報収集と分析について、主体的かつ協働的に取り組むようとしている。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	20
1学期 定期考査			○	○		1

<p>第1章 農業と環境を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業と環境の学び方について理解しているとともに、関連する技術を身につけている。 ・農業と環境の学びに関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 ・農業と環境の学び方について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	<p>1 農業学習とは何か</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 生物を育てる学習 (2) 環境を調べる学習 (3) 農業と環境のかかわり (4) 農業と環境について学ぶ大切さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業学習について理解しているとともに、関連する技術を身につけている。 ・農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。 ・農業学習について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 ・農業と環境の学び方について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	○	○	○	3
<p>第3章 栽培と飼育の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決する。 ・作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけさせるとともに、技術の仕組みを理解させる。 	<p>1 作物の特性と栽培のしくみ</p> <ol style="list-style-type: none"> (4) 成長のしくみと管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の特性と栽培のしくみに関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につけている。 ・作物の特性と栽培のしくみについて多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決している。 ・作物とその栽培に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	○	○	○	4
<p>第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。 	<p>3 トウモロコシの栽培と利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) トウモロコシとは (2) 課題設定と栽培計画 (3) 栽培の実際 (4) トウモロコシの利用 <p>4 ダイズの栽培と利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (3) 栽培の実際 (4) ダイズの利用 <p>5 スイカの栽培と利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) スイカとは (2) 課題設定と栽培計画 (3) 栽培の実際 <p>6 トマトの栽培と利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (3) 栽培の実際 (4) トマトの利用 <p>10 花壇用草花の栽培と利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (3) 栽培の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につけている。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	○	○	○	20
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第3章 栽培と飼育の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決する。 ・作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけさせるとともに、技術の仕組みを理解させる。 	<p>1 作物の特性と栽培のしくみ</p> <ol style="list-style-type: none"> (5) 作物の繁殖と育種 (6) 作付体系と作型 	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の特性と栽培のしくみに関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につけている。 ・作物の特性と栽培のしくみについて多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決している。 ・作物とその栽培に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	○	○	○	2
<p>第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。 	<p>7 ハクサイの栽培と利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ハクサイとは (2) 課題設定と栽培計画 (3) 栽培の実際 <p>8 ダイコンの栽培と利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ハクサイとは (2) 課題設定と栽培計画 (3) 栽培の実際 <p>10 花壇用草花の栽培と利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (3) 栽培の実際 <p>2 イネの栽培と利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) イネとは (2) 課題設定と栽培計画 (3) 栽培の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につけている。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 	○	○	○	26
<p>定期考査</p>			○	○		1

<p>第2章 私たちの暮らしと農業・農村</p> <p>・私たちの暮らしと農業・農村について理解するとともに、関連する技術を身につける。</p> <p>・私たちの暮らしと農業・農村に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する。</p> <p>・私たちの暮らしと農業・農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>1 人間と植物・動物とのかかわり</p> <p>(1) 太陽エネルギーを地球にとどめる植物</p> <p>(2) 生物の生命活動のエネルギー</p> <p>(3) 生物の世界のつながり</p> <p>(4) とぎれることのない物質のつながり</p> <p>(5) 私たちをとりまく環境</p> <p>(6) 森林の生態系の構造と働き</p> <p>(7) 水辺の生態系の構造と働き</p> <p>(8) 農耕地の生態系の構造と働き</p> <p>(9) 都市の生態系</p> <p>(10) 身近な野生生物の保護</p>	<p>・人間と植物・動物のかかわりについて理解するとともに、関連する技術を身につけている。</p> <p>・人間と植物・動物とのかかわりに関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決している。</p> <p>・人間と植物・動物とのかかわりについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
<p>第3章 栽培と飼育の基礎</p> <p>・作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につける。</p> <p>・作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決する。</p> <p>・作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけさせるとともに、技術の仕組みを理解させる。</p>	<p>2 作物をとりまく環境とその管理</p> <p>(1) 作物栽培と環境</p> <p>(2) 作物の生育と大気的环境</p> <p>(3) 作物の生育を支える土</p> <p>(4) 作物の養分と肥料</p> <p>(5) 作物をとりまく生物</p>	<p>・作物をとりまく環境とその管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につけている。</p> <p>・作物をとりまく環境とその管理について多面的・科学的に考察し、想定される諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決している。</p> <p>・作物をとりまく環境に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取組もうとしている。</p>	○	○	○	5
<p>第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト</p> <p>・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。</p> <p>・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。</p> <p>・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>7 ハクサイの栽培と利用</p> <p>(3) 栽培の実際</p> <p>(4) ハクサイの利用</p> <p>8 ダイコンの栽培と利用</p> <p>(3) 栽培の実際</p> <p>(4) ダイコンの利用</p> <p>11 ニワトリ</p> <p>(1) ニワトリとは</p> <p>(2) 課題設定と飼育計画</p> <p>(3) 飼育の実際</p> <p>(4) 採卵鶏の飼育</p> <p>(5) 病気と対策</p> <p>(6) ニワトリの加工</p> <p>13 コナラの利用と方法</p> <p>(1) コナラとは</p> <p>(2) 課題設定</p> <p>(3) 計画と実施</p> <p>(4) コナラの利用</p> <p>15 ガーデニングの利用と方法</p> <p>(1) ガーデニングとは</p> <p>(2) 課題設定</p> <p>(3) 計画と実施</p> <p>(4) まとめと評価</p>	<p>・作物や家畜の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につけている。</p> <p>・作物や家畜の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。</p> <p>・作物や家畜の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第2章 私たちの暮らしと農業・農村</p> <p>・私たちの暮らしと農業・農村について理解するとともに、関連する技術を身につける。</p> <p>・私たちの暮らしと農業・農村に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する。</p> <p>・私たちの暮らしと農業・農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>2 農業と食料供給</p> <p>(1) 人間と農業</p> <p>(2) 農業を支える自然環境</p> <p>(3) 農業・技術と食料生産</p> <p>(4) 農業・農村の姿</p> <p>(5) 食料の流通・消費と食品産業</p> <p>3 農業・農村の役割</p> <p>(1) 食料の生産・供給機能</p> <p>(2) 地域活性化の原動力</p> <p>(3) 国土・環境保全機能</p> <p>(4) 文化の形成と継承</p> <p>(5) 介護・福祉・教育的機能</p> <p>(6) 農村の価値創生</p> <p>4 これからの社会と農業・農村</p> <p>(1) 農業とエネルギー</p> <p>(2) これからの農業・農村</p> <p>(3) 持続可能な農業の維持と発展</p> <p>(4) 環境保全と農業</p> <p>(5) 農業・農村をとりまく課題</p> <p>(6) 都市と農村の共生と対流</p>	<p>・農業と食料供給について理解するとともに、関連する技術を身につけている。</p> <p>・農業と農村について理解するとともに、関連する技術を身につけている。</p> <p>・これからの社会と農業・農村について理解するとともに、関連する技術を身につけている。</p> <p>・農業と食料供給に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決している。</p> <p>・農業と農村に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決している。</p> <p>・これからの社会と農業・農村に関する課題を発見し、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決している。</p> <p>・農業と食料供給について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p> <p>・農業と農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p> <p>・これからの社会と農業・農村について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	11

<p>第3章 栽培と飼育の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・作物栽培や家畜飼育とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決する。 ・作物や家畜の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけさせるとともに、技術の仕組みを理解させる。 	<p>3 家畜の特性と飼育</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 家畜と飼育 (2) おもな家畜の一生と生産 (3) 家畜の成長と繁殖 (4) 家畜の飼料と栄養 (5) 飼育環境の管理と整備 (6) 家畜と人間の新たななかかわり 	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜とその飼育に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につけている。 ・家畜とその飼育について多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け、創造的に解決している。 ・家畜とその飼育に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取組もうとしている。 	○	○	○	2
<p>第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決する。 ・作物の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。 	<p>9 ジャガイモの栽培と利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (3) 栽培の実際 (4) ジャガイモの利用 <p>1 1 ウシ</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ウシとは (2) 課題設定と飼育計画 (3) 飼育の実際 (4) ウシの加工 <p>1 4 間伐の方法と間伐材の利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 干ばつと間伐材 (2) 課題設定 (3) 計画と実施 (4) まとめと評価 <p>1 6 壁面緑化と屋上緑化の方法と利用</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 壁面緑化と屋上緑化とは (2) 課題設定 (3) 計画と実施 (4) まとめと評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・作物や家畜の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解するとともに、関連する技術を身につけている。 ・作物や家畜の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 ・作物や家畜の特性や育成と環境要素、生育と環境要素、生産計画と工程管理について、自ら学び主体的かつ協働的に取組もうとしている。 	○	○	○	13
定期考査			○	○		1
合計						140

年間授業計画

三宅 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科：家庭科 科目：家庭基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 普通科・家政科

教科担当者：豊田睦月

使用教科書：（図説 家庭基礎（実教出版））

教科 家庭科	の目標：
【知識及び技能】	人間の将来にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎	の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	意	配当 時数
<p>A 単元「青年期の自立と家族・家庭」</p> <p>【知識及び技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PICAサイクルのつりや生活設計について考える。 ・生活にはどのような場面で金銭が必要となるか考える。 ・青年期の生き方について自立の観点から学習する。 ・自己分析をすることで自分らしい生き方について考える。 ・生活を支える方働について学ぶ。 ・将来の職業選択について考える。 ・グラフを見ながら、生活時間について考え、男女の違いについて比較する。 ・これからの家庭生活や社会のあり方について、どのような改善が必要か考え、話し合う。 ・さまざまな家族形態について学ぶ。 ・世帯構成の変化について学習し、現代の家族の課題と支援について、事例をもとに考える。 ・世帯構成の変化について学習し、現代の家族の課題と支援について、事例をもとに考える。 ・家族に関する法律を知り、その理念や現在の動きについて学ぶ。 	<p>【知識・技能】 生涯発達の視点で青年期の課題を理解するとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>B 単元「衣生活と健康」</p> <p>【知識及び技能】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解するとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができるようになる。 ・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解するとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人と衣服のかかわりや、衣服の機能について学習する。 ・快適で安全な衣履について学習する。 ・繊維の種類と特徴、糸や布について学習する。 ・衣類素材の性能や加工・改善について学習する。 ・衣服の入手から処分までの流れを学習する。 ・衣服の表示を見ながら、衣服購入のポイントについて考える。 ・洗濯の種類と方法、洗剤のはたらきについて学ぶ。 ・家庭での洗濯方法・保管の方法などについて学ぶ。 ・衣生活と資源・環境のかかわり。また、環境に配慮した衣生活について学習する。 ・ファストファッションについて、事例を挙げながら話し合い、商品選択の際にむかふことを考える。 	<p>【知識・技能】 ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解するとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>C 単元「ホームプロジェクト」</p> <p>【知識及び技能】 ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトに関心をもち、主体的に学習活動に取り組む。 ・生活上の課題を見いだし、その解決を目指して科学的に探究する。 ・生活上の課題に対する成果と課題をまとめて発表し、活動全体を振り返る。 	<p>【知識・技能】 ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。 【思考・判断・表現】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図るために実践しようとしている。</p>				4
定期考査			○	○		1

<p>D単元「食生活と健康」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解するとともに、目的に応じて調理に必要な技能を身に付ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を発見して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食べることで健康のかわり、現代の食生活の変化と問題点について学習する。 ・多次栄養素と水について学習し、からだとのつながりについて考える。 ・炭水化物の働きと、炭水化物を多く含む食品について学ぶ。 ・脂質の働きと、脂質を多く含む食品について学ぶ。 ・たんぱく質の働きと、たんぱく質を多く含む食品について学ぶ。 ・ビタミンの働きと、ビタミンを多く含む食品について学ぶ。 ・ミネラルの働きと、ミネラルを多く含む食品について学ぶ。 ・味に大きな影響を及ぼす調味料や香辛料、さまざまな加工食品について学ぶ。 ・食品の旬や選択の際のポイント、食品の品質表示について学ぶ。 ・食中毒の種類を学び、衛生的な管理に結びつける。また、食品添加物の使用の目的や安全性についても学ぶ。 ・調理の「連」の流れを実践し、その理論やコツを学習する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解しているとともに、目的に応じて調理に必要な技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>E単元「共生社会と福祉」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって表に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって表に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度について学習する。 ・それからの介護と課題について、事例を用いて考える。 ・福祉、ソーシャル・インクルージョンの考え方を学ぶ。 ・自助、互助、共助、公助の状況に応じたバランスを考える。 ・社会保険制度とその目的について学ぶ。 ・地域福祉の担い手を考え、助け合うことについて学ぶ。 ・ボランティア活動の必要性や意欲について、話し合いを通じて考える。 	<p>【知識・技能】</p> <p>生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって表に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>F単元「子どもの生活と保育」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>子供の健全な発達のために親や家族及び地域や社会的果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の健康が将来の生まれてくる子どもにつながることを知り、育てる力について学ぶ。 ・子どもの身体の成長について、大きな流れと特徴を学ぶ。 ・発達の順序や、子どもの世界観について学ぶ。 ・人の発達において、保育や人との関わりがいかに関わることが重要であることを、事例をもとに考える。 ・子どものよい生活習慣はすこやかな成長を促すことや、子どもの健康管理や安全対策の重要性について学ぶ。 ・おもちゃや絵本などの児童文化財が子どもの発達や生活にどのような影響を及ぼすかを考える。 ・子どもを生み育てる意義と人間形成の過程について考える。 ・これからの親子関係について、事例をもとに考える。 ・子育てにおける社会環境について考える。 ・仕事と子育てが両立できる環境について考える。 	<p>【知識・技能】</p> <p>乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>子供の健全な発達のために親や家族及び地域や社会的果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	11
<p>定期考査</p>			○	○		1

<p>6 単元「住生活と住環境」</p> <p>【知識及び技能】 ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解するとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとする。</p>	<p>・住まいの機能や文化、生活様式について学習する。</p> <p>・基本的な平面図の読み取り方を学習する。</p> <p>・生活行為に対応した様々な住空間について学習する。</p> <p>・住まいにおけるバリアフリーやユニバーサルデザインについて学習する。</p> <p>・ライフステージやライフスタイルに応じた住生活について学習する。</p> <p>・快適な室内環境について、日照・採光、通風・換気、騒音・しゃ音、冷暖房などの要素を学習する。</p> <p>・災害や家庭内事故とその対策について学習する。</p> <p>・長く住み続けていくための方法について理解する。</p> <p>・環境に配慮した住まいや住環境にするための方法を理解する。</p>	<p>【知識・技能】 ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>7 単元「生活における経済の計画」</p> <p>【知識及び技能】 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとする。</p>	<p>・家計の構成（収入・支出）を学習する。</p> <p>・現代の家計の特徴について学習する。</p> <p>・ライフイベントや生活のリスクなど、備えた、生涯を見通した経済計画と管理について学習する。</p> <p>・家計と国民経済・国際経済のつながりについて学習する。</p>	<p>【知識・技能】 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の計画について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>8 単元「消費行動と意思決定」</p> <p>【知識及び技能】 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとする。</p> <p>定期考査</p>	<p>・さまざまな契約や主体的な消費行動について学習する。</p> <p>・多様な販売方法や、問題解決の種別と対処法について学習する。</p> <p>・消費者と事業者の間の力の差を埋めるための制度や法律について学習する。</p> <p>・多様化している支払い方法や多重債務の予防と対処について学習する。</p> <p>・近年の消費者問題を学び、問題解決のための消費者運動や消費関連の法律を学習する。</p>	<p>【知識・技能】 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解しているとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実に向上を図るために実践しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>合計</p>			○	○		1
						70

年間授業計画

三宅高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

家庭 科目 生活産業基礎

教科： 家庭

科目： 生活産業基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 家政科 組

教科担当者： (家政科：若井 佐友里)

使用教科書： ()

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解し、関連する技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 生活産業基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。	生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生活産業基礎を学ぶに当たって 【知識及び技能】 職業人として働くことの社会的な意義や役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活産業を担う職業人として課題を発見し、その解決に向けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ア：働くことの社会的な意義や役割 イ：職業人に求められる倫理観 ウ：産業構造の変化と課題 エ：生活産業の意義と役割 ・教材 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 職業人として働くことの社会的な意義や役割について理解している。 【思考・判断・表現】 生活産業を担う職業人として課題を発見し、その解決に向けた考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活産業への関心を高め、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	2
	C ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供 【知識及び技能】 消費者のニーズの把握と商品を企画し、提供に必要なマネジメントの手法、関連法規の概要や趣旨を理解し、技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 消費者のニーズに対応した商品・サービスを開発し、提供するまでの過程における課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供について自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ア：消費者のニーズの把握 イ：商品・サービスの開発及び販売、提供 ウ：関連法規 ・教材 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 消費者のニーズを的確にとらえることの必要性と、商品を企画し、提供していく上で必要なマネジメントの手法、関連法規の概要や趣旨を理解し、関連する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 消費者のニーズに対応した商品・サービスを開発し、提供するまでの過程における課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供について自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	20
	C ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供 【知識及び技能】 消費者のニーズの把握と商品を企画し、提供に必要なマネジメントの手法、関連法規の概要や趣旨を理解し、技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 消費者のニーズに対応した商品・サービスを開発し、提供するまでの過程における課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供について自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 イ：商品・サービスの開発及び販売、提供 ウ：関連法規 ・教材 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 消費者のニーズを的確にとらえることの必要性と、商品を企画し、提供していく上で必要なマネジメントの手法、関連法規の概要や趣旨を理解し、関連する技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 消費者のニーズに対応した商品・サービスを開発し、提供するまでの過程における課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供について自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	B 生活産業と職業 【知識及び技能】 家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について理解し、関連する情報を収集・整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活産業に関連する職業に就くための課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業と職業について自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 ア：食生活関連分野 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 家庭に関する学科に関連した産業の種類や特徴、関連する職業について理解し、関連する情報を収集・整理している。 【思考・判断・表現】 生活産業に関連する職業に就くための課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活産業と職業について自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	6

年間授業計画

三宅 高等学校 令和5年度（1学年用）教科 総合的な探求の時間 科目 人間と社会

教科： 総合的な探求の時間 科目： 人間と社会 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 N・組

教科担当者： (N・K・F組 和紀、豊田 睦月)

使用教科書： (人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」(東京都教育委員会))

教科 総合的な探求の時間 の目標：

【知識及び技能】色々な職業について調べることで、自分を見つめ、自分の生き方を考える。

【思考力、判断力、表現力等】三宅島の産業と歴史文化を知り、自分と島の未来について考える。

【学びに向かう力、人間性等】三宅島の現状を認識し、共同して三宅島の復興に取り組む態度を育て、郷土愛と奉仕の心を育む。

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「人間と社会」に関する基礎的な知識・意義を学び、私たちの生きる社会で求められる力を理解している。	「人間と社会」に関する学習の視点を身に付け、生きる上での課題を発見し、ワークシートにまとめることができる。	「人間と社会」に関して探究する姿勢を身に付け、を自ら課題を解決でき、主体的かつ協働的に取り組むもうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	・「人間と社会」を学ぶ意義・方法について理解させる。また、「人間と社会」に対する興味・関心と意欲を持たせ、生きる上での課題を解決できるようにする。	序章 人間と社会 - 学習の視点を考える -	・「人間と社会」に関する基礎的な知識・意義を学び、方法と進め方を理解している。 ・「人間と社会」に関する学習の視点を身に付け、課題を発見し、ワークシートにまとめることができる。 ・「人間と社会」に関して自ら課題を解決でき、主体的かつ協働的に取り組むもうとしている。	○	○	○	2
	・働くことの意義と課題に関する基礎的な考え方を身につけさせる。 ・働くことが社会に貢献することを理解し、どのように自分が成長するのかをレポートにより表現できるようにする。 ・「働くこと」についてグループディスカッションを行い、主体的に学ぶ意欲と態度を身につけさせる。	第3章 働くことの意義	・働くことの意義を考え、高校生活を送る上で必要な意味を理解している。 ・働くことに関する学習の視点を身に付け、課題を発見し、ワークシートにまとめることができる。 ・働くことに関して自ら課題を解決でき、主体的かつ協働的に取り組むもうとしている。	○	○	○	4
	・学ぶことの意義と課題に関する基礎的な考え方を身につけさせる。 ・学ぶことに関する諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、レポートや発表により表現できるようにする。 ・学習についてグループディスカッションを行い、主体的に学ぶ意欲と態度を身につけさせる。	第2章 学ぶことの意義	・学ぶことの意義を考え、高校生活を送る上で必要な意味を理解している。 ・学ぶことに関する学習の視点を身に付け、課題を発見し、ワークシートにまとめることができる。 ・学ぶことに関して自ら課題を解決でき、主体的かつ協働的に取り組むもうとしている。	○	○	○	2
	・自助・共助・公助に関する基礎的な考え方を身につけさせる。 ・人生のリスクについて、それを支える共助・公助にどのようなものがあるのかを理解し、レポートにより表現できるようにする。 ・疑似体験を通じ共助・公助の必要性や必要とされる方の施行を理解する。 ・ボランティア活動を通して、自ら課題を解決する。	第12章 支えあう社会	・「人生のリスク」やそれに伴う自助・共助・公助の必要性を学び理解している。 ・ボランティア活動を通じて、共助・公助を行う際にどのような心構えを求められているのかを考え、ワークシートにまとめることができる。 ・体験活動を通じて支え合う社会に関して自ら課題を解決でき、主体的かつ協働的に取り組むもうとしている。	○	○	○	11
2 学 期	・地域社会との関わりに関する基礎的な考え方を身につけさせる。 ・地域社会で活動する人々について、活動例がどのようなものがあるのかを理解し、レポートにより表現できるようにする。 ・地域をめぐる状況において、比内手の確保など様々な問題を理解する。 ・児童・福祉・国際ボランティア活動を通して、自ら課題を解決する。	第13章 地域社会を築く	・地域社会とのかかわりや地域社会での活動例、現状を学び理解している。 ・体験活動を通じて、地域社会をめぐる現状を経験から考え、ワークシートにまとめることができる。 ・体験活動を通じて地域社会を築くためにはどのようにすればよいか、自ら課題を解決でき、主体的かつ協働的に取り組むもうとしている。	○	○	○	8
	・選択し、行動することに関する基礎的な考え方を身につけさせる。 ・変化の激しい社会に直面していることを理解し、そのように自分が成長するのかをレポートにより表現できるようにする。 ・「決定と行動」についてグループディスカッションを行い、主体的に学ぶ意欲と態度を身につけさせる。	第7章 選択し、行動する	・選択の方法や変化の激しい社会環境であることを学び、自分で方法を考え、判断することが求められていることを理解している。 ・選択し、行動することに関して自分自身を振り返り、課題を発見し、ワークシートにまとめることができる。 ・選択することや決定することに関して自ら課題を解決でき、主体的かつ協働的に取り組むもうとしている。	○	○	○	2

